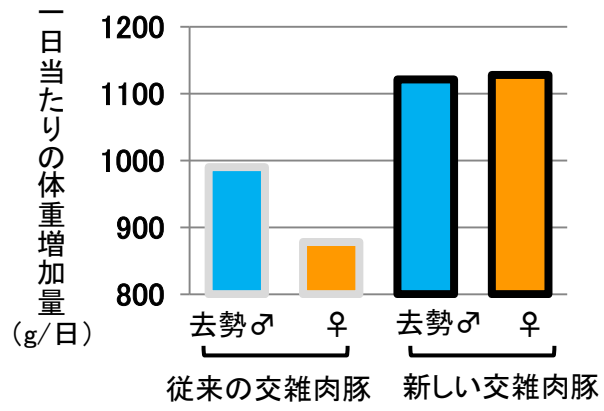


背景

・畜試が造成した「ハマナスW2」と他系統豚の交雑肉豚について、肥育成績の解明と枝肉格付け成績を良好にする飼養技術が求められています。

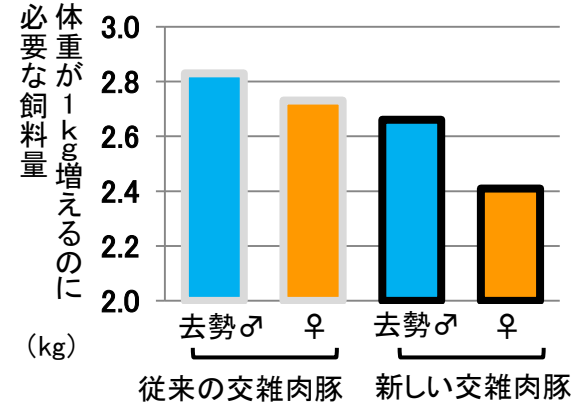
成果

1 新しい交雑肉豚の発育



○ 従来の交雑肉豚に比べ、飼料摂取量が多く、発育が速いため、生時～出荷までの飼育期間が短くなります。

2 新しい交雑肉豚の体重増加に必要な飼料量

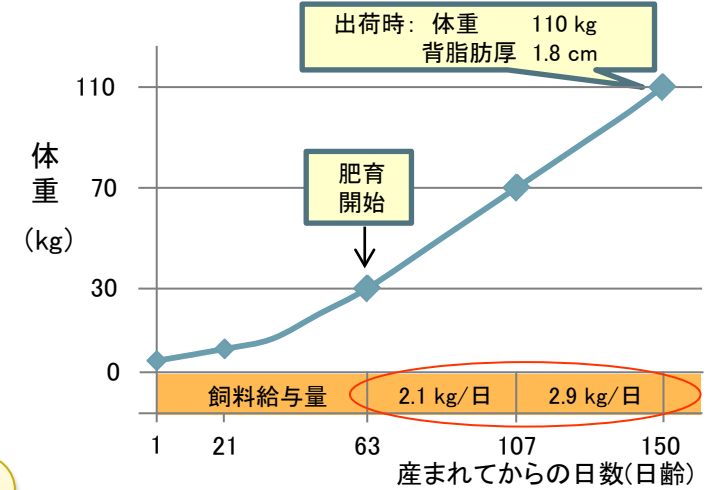


○ 従来の交雑肉豚に比べ、体重増加に必要な飼料量が少なく、飼料費の節減効果が見込まれます。

新たな交雑肉豚生産の交配様式

- ・大ヨークシャー種系統豚「ハマナスW2」(H20年畜試造成) 雌にランドレース種系統豚の雄を交配して、一代雑種豚(雌)を生産し繁殖豚に育成します。
- ・一代雑種豚(雌)にデュロック種新系統豚「ゼンノーD02」(H23年全農造成)(雄)を交配して、交雑肉豚を生産します。
- ・交雑肉豚は、肥育終了後に出荷、と畜されて「お肉」になります。
- ・この交配様式による肉豚生産はH24年から開始されました。

3 新しい交雑肉豚の適切な飼料給与量



○ 良好な枝肉の格付け成績が得られる、肥育開始～出荷時までの飼料給与量を明らかにしました。

期待される効果

- ・飼育日数の短縮や飼料費の節減が見込まれます。
- ・齊一で高品質な豚肉生産を行うための基礎技術が得られ、枝肉品質の安定化に貢献。